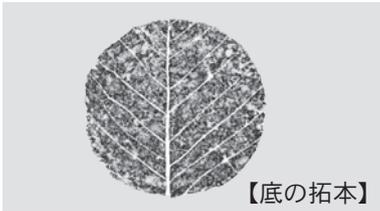




(高さ約33cm)



【底の拓本】

天王峯遺跡出土の弥生土器

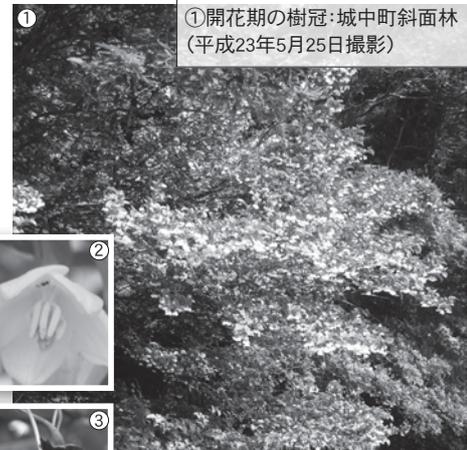
土器の底を観察すると、模様のような痕跡が残されていることがありますが。土器づくりの際に土器を回転させやすくするための下敷の跡だと思われます。縄文時代の土器の底には、竹ひごなどの編物の痕跡が残されたものがあります。弥生時代になると、市内では葉の痕跡が残された土器が多くなります。天王峯遺跡で見つかった弥生土器の底には、葉の裏面の葉脈が残されており、葉のつるつるした面を作業台側にしていたと考えられます。県北地域では、砂の

◆今回紹介した土器は、かっぱの里ギャラリー(かっぱの里生涯学習センター)内で展示中

痕跡が残された弥生土器が多く、打ち粉のように砂を使用して作業台への付着を防いだと思われるかもしれません。また県北地域では、織物の痕跡が残された弥生土器が多いようです。土器づくりの際の下敷に何が使われたかは、時代や地域によって異なります。土器の底には、当時の植生、編物や織物の技術など、失われた情報がたくさん残されています。

## 里山の樹木

問 都市計画課  
☎内線2524



①開花期の樹冠:城中町斜面林(平成23年5月25日撮影)



②



③

②花:牛久自然観察の森(平成24年5月23日撮影)、③果皮が剥けた種子:牛久自然観察の森(平成23年9月3日撮影)

### 第42回

## エゴノキ

エゴノキ科エゴノキ属の落葉広葉樹の小高木、北海道〜沖縄に分布。市内では斜面林や雑木林などに生育。樹皮は淡黒色。しばしば株立ち状になります。葉は卵形から狭長楕円状卵形、長さ4〜8cm、幅2〜4cm。花は5〜6月に咲き、

## 文芸さろん | 水無月 |

藤色の日傘かざせし様見せて  
テッセンの花今盛りなり  
春うららつくしをつみし押し花に  
日々介護ひかる若葉に深呼吸  
落花浴ぶワンピースの子の片えくぼ  
新時代令和のつつじ咲きにけり  
令和初御朱印並ぶ端午の日  
名も知らぬ花を摘んでは凶鑑にて  
孫と調べて時は過ぎゆく 草葉



匿名希望  
月田さん  
涼 空 一朶  
あおたん

### <次回募集テーマは「夏」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など  
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1  
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512  
E kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp  
【記載事項】作品、氏名、電話番号  
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



長さ2〜3cmの小花柄があつて下向きに開きます。花冠は白色、径2.5cm、5深裂します(②画像)。果実は卵円形で長さ1cm内外、星状毛を密布して灰白色、熟すと果皮が割れて、褐色の種子が1個現れます(③画像)。種子はサポニンを含み有毒。白い清楚な花が枝いっぱいにはぐら下がりますが、エゴノネコアシという虫こぶを花と間違いやすいです。種子は野鳥のヤマガラの好物。名前は果皮がえごい(えぐい)ことに由来します。  
※牛久の里山樹木ハンドブック33ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874-6600)まで。  
【資料提供】NPO法人うしく里山会(文章:小松友枝、写真:①③渡辺泰、②戸塚昌宏)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)